

(対象事業：1. 地域の中核館として他館や他機関等と連携して行う事業)

事業名：ミュージアムコミュニティ「さいたまの海」形成事業

事業者名：埼玉県博物館連絡協議会

連携事業館名：埼玉県博物館連絡協議会加盟 78 館園

住所：埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-219

TEL：048(645)8171

FAX：048(640)1964

HPアドレス：<http://www.saihakuren.org/>

①施設概要

埼玉県博物館連絡協議会5ブロックの各地域館園の代表7名からなるIT化推進委員会を設置し、ホームページの基本仕様から運用手法まで、都合6回の委員会を開催し検討した。

②事業の意図目的

- ・博物館広報広聴活動の充実を図るために、埼玉県博物館連絡協議会（以下、「埼博連」という）加盟館園と、利用者との協働による埼博連ネットワークを構築する。
- ・地域文化の再発見と交流を促進するために、情報ネットワークを強化し、広域コミュニティを構築する。
- ・インターネットコミュニティを運営するなかで、博物館と地域コミュニティとの接点を拡大する。

③事業概要

- 埼玉の歴史、文化を醸成するインターネットコミュニティ「さいたまの海」の専用システムとコンテンツを構築し、次のような事業を行った。
- ・埼博連各加盟館園ホームページの総合ポータルサイトとしての文化・博物館情報の発信。
 - ・埼博連各地域館園と事務局が連携した地域密着型情報ネットワークの整備。
 - ・ネットミュージアム事業の展開
 - ・インターネット会員の募集や、埼玉の歴史・文化に係わる学芸情報メールマガジンの配信準備。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 その他（インターネットコミュニティ「さいたまの海」）
 作成した報告書等
 その他（ポスター、チラシ）

⑤参加者状況

3月25日開設からのアクセス件数 延べ 663 件

(1) 事業の実施状況について

埼玉県博物館連絡協議会では、加盟館園の実施する活動・事業についての情報を広く発信するため、ガイドブックの刊行や、情報誌・催し物案内等の発行などの業務を行ってきたが、協議会活動の活性化、及び広聴広報機能の強化を目指し新たにインターネットを活用したポータルサイトを開設し、運営することとした。

そして、サイトの名称を「ミュージアムコミュニティさいたまの海」とした。

サイトの開設に関する作業は、埼博連の地区ブロック（東・南・西・北・秩父地区）から代表を募り、委員7名で構成するIT化推進委員会を設置し、これに事務局を加えて行った。

委員会は、サイトを構築するための基本方針を話し合い、どのような内容とするかを検討した。その結果、サイトの大きな柱となるものをポータルサイト機能と、ホームページ管理・サービス提供機能とした。

ポータルサイト機能は、加盟各館園ホームページへのリンク、博物館情報の提供、イベント案内、及びネットミュージアムなどからなる。

また、ホームページ管理・サービス提供機能は、ホームページ作成・管理、ホームページ解析、伝言板やメールマガジン配信などの機能をもつものである。

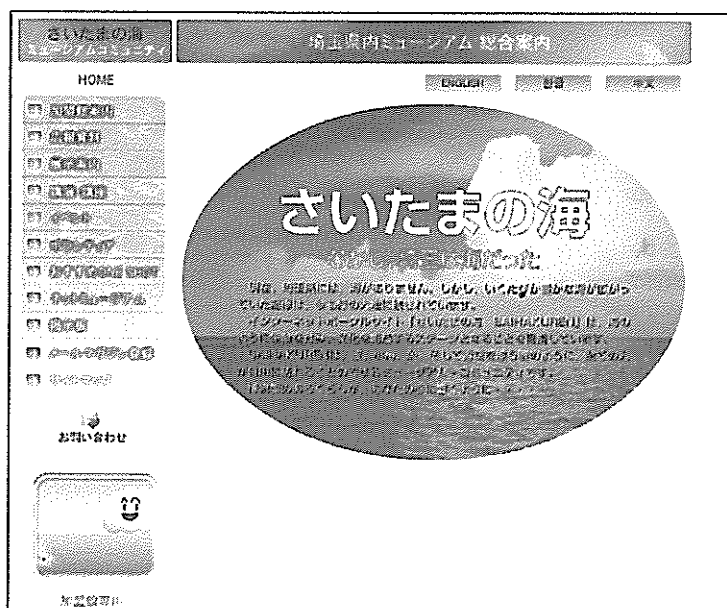
さらに委員会は、これらの機能の詳細と、サイトのデザイン、プログラム、セキュリティシステムや、機器の仕様を定めた委託業務仕様書を作成し、指名競争入札により委託業者を選定した。

委託事業期間は、平成16年10月～17年3月とした。IT化推進委員は、各所属ブロック内の館園の資料情報や画像等を集約し、コンテンツ作成の材料を委託業者へ提供した。17年1月に委託業者から第1次案が提出され、委員会で検討を行い、修正を加えた最終案が2月に完成した。最終案をもとに委託業者がテスト版を作成し、最終的なチェックが行われた後、3月25日サイトを立ち上げた。

「ミュージアムコミュニティ さいたまの海」

トップページ

むかし、埼玉は海だった・・・
で始まる。



一覧で表示され、詳細ボタンをクリックすると、その館の概要や、画像、アクセス方法などを知ることができる。

詳細ボタンで、その内容を詳しく紹介
する。

各館園が開催する特別展や常設展を
いながらにして見ることができる。

- 3 -

(2) 地域との連携について

平成16年度埼玉県博物館連絡協議会加盟館園78館による共同事業

(3) 成果物について

埼玉県博物館連絡協議会ポータルサイト「ミュージアムコミュニティさいたまの海」一式

(4) 参加者の反応

掲示板に寄せられた意見

■ すばらしいサイトです おすすめ！ ■

むかし埼玉県民だったころには、印刷物の博物館案内を愛読していましたが（タイトル忘れてしまいました、ごめんなさい）いつしか発行されなくなり、私も引越してしまっただけでそれっきりだったのですが、こんなすばらしいサイトに生まれ変わっていたなんて！埼玉在住の方、必見ですよ！

公立・私立問わずに掲載してくれるなんて、ひと昔前には考えられなかったことです。利用者からみれば当然必要なことなんですよ。

たくさんの方がここを訪れて、さらに博物館・美術館に足を運ばれると良いですね。

埼玉には小さいけれど魅力的な施設がたくさんあると思います。個人的には岩槻にある民俗文化センターと、蕨の河鍋暁斎記念美術館が好きでした。

最後に。インターネットを利用しない人（高齢の方には多いと思います）が回りにいたら、プリントアウトしてでも見せてあげてくださいね。知らないのはもったいないですから。

■ 埼玉に海があった！？ ■

今は全国でも数少ない海が無い県、埼玉に海があったなんて！？テレビアミみたいなネタがありそうですね？みんなで探しましょう！教えて SAIHAKUREN。

■ おめでとうございます ■

さいたまにこんな団体があったんですね。

がんばってください。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

埼玉県博物館連絡協議会は、さまざまな運営形態をもつ館園の集まりであり、その専門分野とするところも多岐にわたる。それらの館園がひとつになってこのサイトを開設できたことは大きな成果である。そうした意味でこのサイトが果たす役割は、本来の機能にとどまらず、加盟館園の連携を象徴する存在となることが期待される。

広聴広報機能の強化・充実については、早くも寄せられた掲示板の書き込みやメールから、双方向通信の効果が実感できる。このような声を拾い上げ、加盟館園と利用者でつくるミュージアムコミュニティ構想は、今後のサイト運営に係わる部分である。

(6) 新聞記事等

特になし